

指導・評価計画 第3学年 家庭科

1 評価の観点及びその趣旨

①、知識・技能	②、思考・判断・表現	③、主体的に学習に取り組む態度
生活や技術に関する基礎的な知識や、生活と技能について、生活の場面で活用できるように理解したり、知識を身につけている。	教科の知識および技能を活用して課題を解決するなどのために必要な思考力・判断力・表現力を身につけている。	生活に必要な知識や技能を習得し、自らの学習状況も把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。

2 「衣生活と自立」「住生活と自立」の評価の観点及びその趣旨ひしき

①、知識・技能	②、思考・判断・表現	③、主体的に学習に取り組む態度
衣服の着用、選択、手入れについて関心をもって学習活動に取り組み、衣・住生活をよりよくしようとする。	衣服の着用、選択、手入れについて課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	衣服の着用、選択、手入れに関する基礎的、基本的な技術を身につけている。
安全で快適な室内環境能登との絵方と住まい方について関心をもって、学習活動に取り組み、住生活をよりよくしようとしている。	安全で快適な室内環境能登との絵方と住まい方について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。	住居の機能について理解し、安全で快適な櫃ない環境と住まい方に関する基礎的基本的な知識を身につけようとしている。

3 指導・評価計画

月	項目(学習内容)	評価の観点及びその評価規準	主な評価方法	評価基準（おおむね満足できる B）	観点別評価観		
4月	＜幼児の生活と家族＞ 今の自分と幼児の頃の自分 わたしの生活と家族 中学生にとっての家族	・自分の成長を振り返る。 ・家族の一人として役割を自覚し、家族の意味を理解しようとする。 ・幼児への関心を持つようにする。 ・幼児の身体の発育について発達の方向性や順序性があることを理解する。 ・個人差があることも理解する。 ・幼児の言語・認知・情緒社会性の発達について理解する。 ・泣いているときの気持ちなども理解しようと努める。 ・自分の生活での活用を考えながら、幼児の発達に伴うおもちゃを制作する。	・学習の様子	小学校の学習を振り返り、3学年間の学習に関心をもち、見通しをもって取り組もうとしている。	○		○
5月 ～	＜幼児の家庭と生活＞ 1 幼児の心と体の発達 2 発達にとっての大人の役割 * 上記の内容を、下の〈布を用いた物の製作〉を通して学習する。		・学習の様子 ・提出物	・自分の成長を振り返る。家族の一員として家族の意味を理解できる。	○		
			・学習の様子 ・提出物	幼児の体の発達に関心をも持って取り組むことができる。	○		
			・ノート提出 ・実習態度	・幼児の心の発達について関心をもって学習活動に取り組んでいる。 ・心身の発達についてを理解して関心をもって学習に取り組んでいる。	○		
			・実習態度 ・提出物 ・作品	・個人差があることや、発達のそれぞれについてひとつづつ理解しようとし、いろいろな場面も工夫してとらえようとしている。 ・幼児のための作品に関心を持って取り組んでいる。 ・工夫しながら制作作品に取り組んでいる。		○ ○	
			・作品・課題 ・実技テスト	・幼児のための作品づくりに意欲をもって作り、縫うことの技能を身に付けようとしている。 ・安全で能率よく製作することができる。 ・縫製の用具や縫い方などの基礎的な知識を身につけている。			○
	＜布を用いた物の製作＞		・定期考査	・幼児の特徴を理解しているb。 ・幼児の体と心の発達を理解している。 ・言語、認知、情緒、社会性の順序や発達を理解している。			

11月							
12月	〈消費生活・環境〉 1 家庭生活と消費	・物資とサービスの仕組みがわかる。 ・消費生活の仕組みがわかる。	・学習の様子 ・作品 ・定期テスト	・消費生活を理解しようとしている。 ・収入、物資、サービスを理解している。	○	○	○
	2 購入支払いと生活情報	・収支のバランスを図り、計画的に金銭管理ができるようにする必要性があることをわかるようにする。	・提出物 ・学習の様子	・消費生活の基本的な機能や購入、支払いに関心を持って学習活動に取り組んでいる。	○		
	3 消費者被害と消費者の自立	・店舗販売と無店舗販売との違いを理解する。 ・売買契約について問題発生の原因や方法を含め理解する。 ・支払い方の違いを理解しそれぞれの特徴を知る。 ・自立できる消費者になれるように被害の現状や予防の方法を理解する。 ・消費者の権利と責任を理解する。	・提出物 ・定期テスト ・提出物 ・冬休み宿題 ・実技テスト	・悪徳商法の課題点を見つけ、引っかけからないように生活の中で工夫している。 ・自立するための支援方法を理解し、生活に利用して安全で快適な生活を送れるように生活を整えることができる。		○	○
2月	〈消費生活と環境〉 4 持続可能な社会	・購入をとおして消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。 ・環境に配慮した生活ライフを選択し、実践する。 ・各国と連携した持続可能な生活を背う説で来るように努力する。 ・体験を通しより持続可能な生活を送れるように実践していく。	・定期テスト ・学習の様子 ・提出物 ・提出物 ・学習の様子 ・学習の様子 ・実技テスト ・定期考査 ・小テスト	・消費生活で持続可能な社会の作り方を理解している。 ・生活を持続可能にしていくための方法を工夫したり、理解していこうとし取り組んでいる。 ・持続可能な社会の存続方法を工夫している。 ・持続可能な社会を作るための工夫を理解して、作品づくりに取り組んでいくことができる。 ・持続可能な社会のついて理解している。 ・持続可能な社会を作るための工夫、方法を理解している。		○	○